



日本最古のゆず産地 毛呂山町・関東一の出荷量を誇る越生町 地元の「桂木ゆず」を使ったゆず風呂を開催



株式会社温泉道場（埼玉県比企郡ときがわ町）が運営するゆうパークおごせ（埼玉県入間郡越生町）では、地元の名産品「桂木ゆず」をたっぷり使ったゆず風呂を実施します。

■桂木ゆずの歴史

日本最古のゆず産地として知られている毛呂山町。毛呂山町のゆず栽培の歴史は古く、江戸後期1820年ごろ成立した『新編武蔵風土記』には、毛呂山町の滝之入地区（当時は瀧野入村）の土産として「ゆずの実を数十駄（一駄は135kg）を産出している」と紹介されています。

昭和初期、毛呂山町滝之入地区の串田市太郎氏が「将来日本の食文化は変わる。ゆずのように香りを食べる時代が必ず来る」と考え、養蚕から経営転換をはかり、農園としてゆずの栽培を始めました。食材として価値のなかった時代に将来を見通した手腕は、ゆず栽培を大きく発展させました。以来、ゆず栽培は滝之入全域に広まり、「桂木ゆず」の銘柄として全国に名を売るまでになりました。

ただ、現在ゆず農家は高齢化・跡継ぎがないなどの問題で衰退している現状があります。私たちお風呂屋さんとしても、ゆず農家を応援すべく、ゆず風呂で盛り上げていきたいと考えています。

- 【開催日時】 平成30年12月15日（土）・12月24日（月・祝）
【開催店舗】 ゆうパークおごせ <https://youpark.jp/>
【内 容】 桂木ゆずを内風呂に100個以上浮かべます。
【おすすめ】 日本最古のゆず産地である毛呂山町と、関東一の出荷量を誇るゆず産地・越生町両町の桂木ゆずを使用して、地元を盛り上げるゆず風呂を開催します。

■本リリースに関するお問い合わせ先■

株式会社温泉道場

松澤 修 090-2146-1835

齊藤 綾子 070-4499-3479 saito@onsendojo.com